

# 〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 440 (通算 772 回)

2022年7月29日(金)

学士課程教育の原点を拓く ―

## 教学マネジメントの検証と深化シナリオ

～ 昨今の教学のあれこれ／全国的な概況／諸々の課題解決へ ～

※ 学事暦 ～4 学期制の効能／成績評価 ～ f-GPA ※ 授業アンケート／学修ポートフォリオ

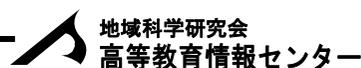
※ 学修行動の比較調査／個性・人柄の活性化と自律性 ※ ディプロマ・サプリメント／そして、総合討論

### ● 講師 ●

半田 智久 氏 / 東京家政学院大学 教育開発・IR センター 特任教授

【企画協力】 学校法人 城西大学

2022年7月29日(金) 城西大学 東京紀尾井町キャンパス (東京・麴町)



日時: 2022年7月29日(金) 13:00 ~ 16:50

会場: 城西大学 東京紀尾井町キャンパス 3号棟

(東京・麴町) 東京都千代田区平河町 2-3-20

アクセス: 東京メトロ有楽町線「麴町駅」1番出口より徒歩5分

東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」1番出口より徒歩7分

※返信メールの送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名(資料代込) 35,000円(税込)

B. 高等教育同人(☆) 18,000円(税込)

※本セミナーは対話を重視するため、  
 「当日会場参加」のみの受付です。  
 「当日オンライン参加」・  
 「メディア参加」はありませんので、  
 ご高承ください。

☆ 高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認願います。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・当日払いがあります。

みずほ銀行麴町支店 普通 1159880

三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麴町支店 普通 7411658

口座名 (株) 地域科学研究会

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10

ライオンズマンション平河町 101

Tel: 03(3234) 1231 Fax: 03(3234) 4993

E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

HP: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

※ 音声 CD の販売はありません。

(※参加申込みの折は、必ず下記事項をご記入の上、FAX か E-mail にてお送りください)

### 研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 440

(該当する□に✓印を)

年 月 日

### 教学マネジメントの検証と深化シナリオ

#### 当日会場参加

勤務先 \_\_\_\_\_

支払方法  当日払い  銀行振込  
必要書類  請求書  見積書  領収書

所在地 (〒 \_\_\_\_\_ )

(請求書等記載の宛名 \_\_\_\_\_)

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス (※返信いたしますので、必ずご記入願います)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

◇ 講師からのメッセージ ◇

本年1月から3月にかけて、全国の大学に教学関連の代表的な課題の現況についてアンケート調査を実施した。学修者本位の教学・教学マネジメント・内部質保証などに関連して、どの大学でも共通してなすべきこととされているらしいことの実際のありようを尋ねた。そしていま現場で抱えている課題についての声を聞き、まとめ、それを大学間で共有しようと思ったのだ。本日はこの場をお借りして、その結果をみながら目的の一端を果たそうと思う。

それらを眺めると、各大学で共通して抱えている課題の多くは、思いのほか簡単に解決可能であったり、解釈をあらたにすることで解消するであろうことも見通せた。それらについても紹介しつつ、参加者のみなさんと具体的に歩みが踏み出せる方向へと相互に理解を深める時間にしたい。

わたしはこれまでICTを利した有効性の高いwebサーベイの手法を確立してきたひとりと自負している。だが、今般のアンケート調査は思うところあって、久々に昔ながらの質問紙を作成し、郵送留め置きで配布・回収し、手作業で回答もみずから入力し、まとめた。

それら著しく手のかかる作業をあえてしながら、心ならずもこの種の調査を随分としつつけてきた人生だったなどと振り返った。その非効率きわまりない手作業に時間を費やしつつ、そのとき訪れる気が遠くなるような疲労感に、ここ最近失っていた生物的なテンポやリズムの快を感じ取っていた。さまざまに手書きされた回答と向き合っていると、しばらく遠のいていた身体行為のリズムにも感じ入ることができた。

その余韻のままに、この今回の会でもICTによる便利といわれるその便の利というところが、わたしにはどうも上っ滑りの利と思いなすことばかりに思えることから、そうしたコミュニケーションの方法は、あえてお断りさせていただくことにした。ここではお手軽に済ませられるようなことがらを扱うつもりはないし、そのように向き流すこともしたくないからである。

時間	講義項目
13:00 ～ 13:50	<p>1. 学期のありかた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一時、盛り上がった四学期制、移行した大学、入れ込んでみた大学、語られた効能はどうであったか。</li> <li>なにがみえてきたのか。</li> </ul> <p>2. 成績評価 — GPA/f-GPA</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>導入史20年、算定法をめぐって、なぜわたしはGPAに強く関心を惹きつけられたのか。</li> <li>人の判断の不可思議さは今もって謎。</li> </ul>
14:00 ～ 14:50	<p>3. 授業アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ効果と共通する課題。その解決の方途、内部質保証基盤としてのアセスメント循環と自己組織化。</li> <li>多すぎることの貧しさからの脱却。</li> </ul> <p>4. 学修ポートフォリオ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>理念 — 実践 — 実際、想像力と構想力、人（生物）同士の教学の実際にデミング・サイクルやカンバン方式はヒントにならない。</li> <li>less is more -</li> </ul>
15:00 ～ 15:50	<p>5. 学修行動の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行動の調整と同化、nudge。教学比較IR コモンズのコンセプトと使命、8年間の経験。</li> <li>こだわりつつける大学のオートノミー、自律的・大学間連携と資源連携的な内部質保証</li> </ul> <p>6. 「力」とは異なるほうへ、 大学における別次元の修学成果・個性・人柄の活性化: Character Activation Program</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なにがどのくらいできるか、の証拠づくりより、どんなひとかがわからなければ、、、</li> <li>「ここではわたしのちからが、いかしきれない…」とつぶやかれるのがオチだから。</li> </ul>
16:00 ～ 16:50	<p>7. ディプロマ・サプリメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業証書と成績証明書 = 昭和様式、いかにもこの時代には間にあわない。</li> <li>プラスの今様を考えれば、その姿は歴然、ポイントになるのは、God is in the detail...</li> </ul> <p>8. 総合ディスカッション</p>